

News release

シグマ調査による2017年上半期概算: 災害に起因する世界の経済的損失額は440億米ドル

- 2017年上半期の災害による経済的損失総額は440億米ドル。件数および被災規模が前年を下回ったことにより、前年同期の1,170億米ドルから大幅に減少
- 2017年上半期の災害による保険損害額は、前年同期の360億米ドルから減少して230億米ドルに
- 米国における雷雨が最大の損失
- 2017年上半期の災害による犠牲者数は約4,400人

チューリッヒ、2017年8月17日 - シグマ調査の概算によると、2017年上半期の自然災害および人災による世界の経済的損失総額は440億ドルの見込みとなりました。これは過去10年間の上半期の経済損失平均額である1,200億米ドルを大きく下回り、前年同期よりもはるかに減少しています。2017年上半期の損失額全体のうち、230億米ドルが保険により補填されました。米国で相次いだ激しい雷雨が、2017年上半期における最大規模の損失となったいくつかの災害の原因となりました。世界全体では、およそ4,400人が災害の発生により死亡または行方不明になりました。前年同期は4,800人でした。

2017年上半期の世界の全経済的損失総額440億米ドルのうち、自然災害に起因する損失のみで410億米ドルを占め(前年同期は1,100億)、残りの30億米ドルが人災によるものでした。世界の自然災害による保険損害額は前年同期の300億米ドルから200億米ドルに減少し、人災による保険損害額も60億米ドルから30億米ドルへの減少となりました。災害の発生による犠牲者数はおよそ4,400人でした。この数はここ数年と比べると少ないものの、6月に欧州を襲った熱波の犠牲者数の推定値が加わると、さらに増える可能性があります。

雷雨を起因とする米国の雷雨が最大の損失 - その大部分を保険が補填
米国を襲った猛烈な対流性暴風雨(雷雨)は、今年上半期で最大の損失という結果をもたらしました。2月から5月にかけて激しい気象条件が別々に4回発生し、毎回10億米ドル以上の保険損害を引き起こしました。最も被害が大きく、高額な損失を出した出来事は5月の4日間にわたる嵐で、コロラド州でひょうにより建物に甚大な被害を被ったほか、中部および南部の州の地域でも強風による被害がありました。この嵐の経済的損失額は22億米ドルにのぼり、そのうち保険損害は19億米ドルでした。

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171


Lucia Bevere, Zurich
Telephone +41 43 285 9279

Kurt Karl, Armonk
Telephone +1 914 828 8686

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone + 852 2582 5644

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O.Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

小型の嵐やその他の気象事象(洪水など)も2017年上半期の米国では数多く発生し、その保険損害額は、全保険損害額230億米ドルのうちの160億米ドルを占めました。スイス・リーのチーフ・エコノミストであるカート・カールは次のように述べています。「幸運なことに、米国の大部分の家庭や事業者は風のリスクを対象とした保険に加入しており、激しい嵐に襲われたときにも経済的な保障を得ることができました。」

異常気象の年

米国以外で最も規模が大きく高額な損失となった保険事故はサイクロン「デビー」でした。これは、3月末にオーストラリア北東部の海岸を襲ったカテゴリ-4の熱帯低気圧です。最大瞬間風速は時速263kmを記録し、数日にわたリクイーンズランド州中部から南部にかけてとニューサウスウェールズ州の北東部におよぶ広い範囲に洪水をもたらした結果、保険損害額は13億米ドルにのぼりました。

その他の大規模な災害では、ペルーの洪水、また晩春の米国南東部および欧州を襲った霜害の甚大な被害がありました。年頭には欧州全域で寒波が発生し、数十人が低体温症による犠牲者となりました。その後、夏に熱波が襲った欧州では最高気温が更新された地域も複数あり、これまでのところ2017年は異常気象の年となっています。高温と乾燥した天候は北半球の夏を通じて現在も継続中であり、世界の多くの地域で山火事を発生させています。

表1: 2016年と2017年の上半期の経済的損害額および保険損害額の総額

単位: 10 億米ドル	2017 年 上半期	2016 年 上半期	前年比	10 年平均
経済的損失総額	44	117	-62%	120
自然災害	41	110	-63%	112
人災	3	7	-51%	8
保険損害総額	23	36	-38%	33
自然災害	20	30	-35%	29
人災	3	6	-51%	4

出典: スイス・リー・インスティテュート

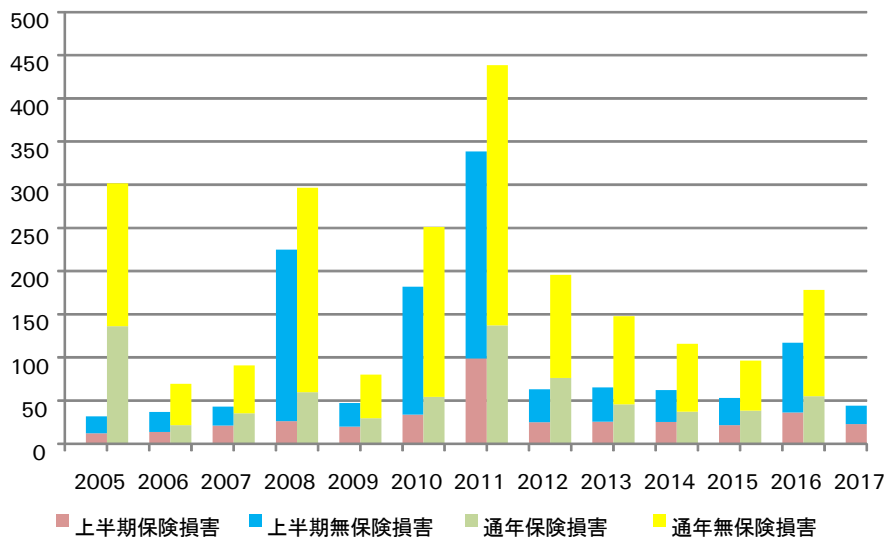
表2: 2017年上半期自然災害の保険損害額上位の事故(単位: 10億米ドル)

月(開始)	保険損害 ¹	経済的損失	事象	国
5月	1.9	2.2	雹嵐、雷雨 ²	米国
3月	1.6	2.1	雷雨、竜巻、ひょう ²	米国
3月	1.5	2.1	雹嵐、雷雨、竜巻 ²	米国
2月	1.4	1.8	雷雨、竜巻、大雹 ²	米国
3月	1.3	2.5	サイクロン「デビー」 ³	オーストラリア
6月	1.0	1.5	雹嵐 ²	米国

注: (1) 賠償責任保険および生命保険を除く、損害保険および事業中断保険で保障される損害

出典: (2) 米国自然災害概算、プロパティ・クレーム・サービス(PCS)認可取得済み (3) スイス・リーによる概算

図表1: 2005年~2017年自然災害関連の損害額(単位: 10億米ドル)



出典: スイス・リー・インスティテュート

[シグマ エクスプローラー ウェブアプリの機能](http://sigma-explorer.com)が更に充実しました。sigma-explorer.com にアクセスして、[natural catastrophes data projected onto world maps](#) (世界地図で見る自然災害データ) を閲覧、ダウンロード、シェアしてください。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト(www.swissre.com)をご覧ください。または Twitter で([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe))をフォローしていただきますようお願い致します。